

みんなでやらいや農業支援事業
がんばる農家プラン事業

事業名：水耕栽培機器等設置事業

平成26年2月

社会福祉法人 敬仁会
就労継続支援B型ハッピーバーディー

1 はじめに

- ① 目 的
- ② 実施主体法人及び事業所の概要説明
- ③ 時 期
- ④ 事業フロー図
- ⑤ 地域の現状

2 目標数値

- ① 生産内容と量
- ② 販売先

3 課題と解決策

4 資金計画

※その他資料

【事業名称】水耕栽培機器等設置事業

1 はじめに

① 目的

- A. 機械化農業(水耕栽培)導入による新農業振興
- B. 湯梨浜町内の地産地消の推進による地域活性化
- C. 農業収入の増額
- D. 職員・障がい者就労の拡大

② 実施主体法人及び事業所の概要説明

【社会福祉法人 敬仁会】

昭和33年6月創設の社会福祉法人であり、倉吉市に法人本部を置き、現在、鳥取県中部を中心に県西部・東京都内において老人施設・障がい施設・救護施設・保育所等12施設を設置運営している。

障がい施設に於いては、重度障がい者の生活支援の他、中度軽度の方への各種の生産・販売などの就労訓練サービスを提供している。

現在、琴浦町内に障がい者グループホーム、東京都足立区に3番目の特別養護老人ホームと保育所を建設中であり、総合的な福祉サービスを展開中である。

【就労継続支援B型ハッピーバーディー】

平成20年4月に湯梨浜町長和田地内に、在宅障がい者の通所による就労訓練の事業所(定員20名)として、開設し約6年が経過した。

主な就労訓練作業として、3種類(水耕栽培作業・移動販売作業・バイオディーゼル製造作業)の作業を提供し、移動販売作業は主に湯梨浜町内の無店舗地区を中心に販売を行い「買い物難民」の支援を行っている。

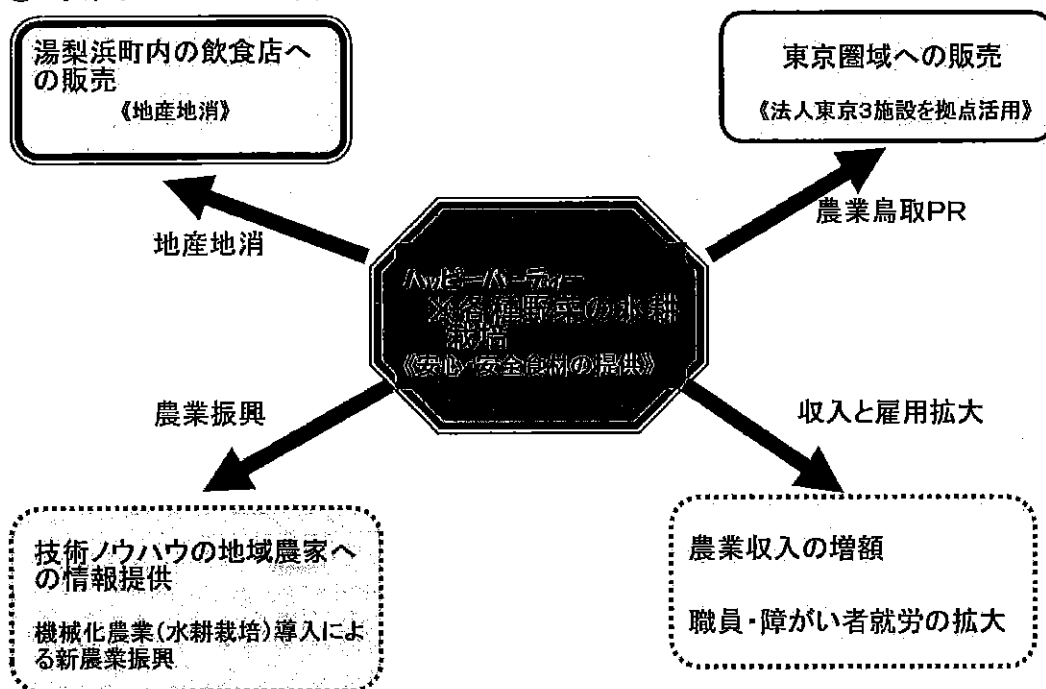
バイオディーゼル製造作業は、県中部圏域の飲食店から天ぷら油を提供戴き、環境にやさしいバイオ燃料を精製安価提供し、環境活動と併せた作業提供を行っている。

中心である水耕栽培作業は、創設時からの作業であり、現在、400㎡のハウス2棟で、「サラダホウレンソウ」「フリルレタス」「サラダ水菜」を栽培し、生産量年間約20トン、年間販売額1,100万円となっている。

③ 時期

障害サービス事業	時 期				
	H26年3月	" 4月	" 5月	" 6月	" 7月
補助事業審査会	中旬				
補助決定可否	下旬				
可の場合:決定通知		下旬			
" :事業着手と完了			→		

④ 事業イメージ:フロー図



⑤ 地域の現状

A. 人口・世帯数

(人口H25. 5現在)(その他H22. 2現在)

	鳥取県	湯梨浜町	参考:北栄町
人口	578,604人	16,794人	15,010人
世帯数	213,928世帯	5,555世帯	4,860世帯
第1次産業 就業者数	26,791人	1,465人	1,987人

B. 農業関係状況

	鳥取県	湯梨浜町	参考:北栄町
農家数	21,472戸	869戸	1,058戸
農家世帯員数	88,181人	3,672人	4,465人
耕地面積	35,000ヘクタール	1,322ヘクタール	2,216ヘクタール
農業産出額	平均1,989,000円/1人当	全国平均 3,168,000円/1人当	

※上記、データから湯梨浜町は隣接北栄町と比較して、農家数は82.1%であるが耕地面積は59.6%である。限られた耕地面積で効率的生産量と収入金額が確保できる農業分野振興が必要。季節による生産量に大きな変化がなく、高齢者にも労働負荷の軽い水耕栽培や遊休資産活用とLED照明等ハイテク技術導入の野菜工場などでの展開が必要

2 目標数値

① 水耕野菜生産内容と量

野菜種別	ハウス面積	収穫量・売上額	備考
ルッコラ(新栽培)	【増設】 水耕ハウス1棟	6,900kg/年間予測	日照量により季節変動あり
		5,500,000円/年間予測	800円/1kg販売
フリルレタス(現栽培中)	【既設】 水耕ハウス1棟	6,700kg/年間実績	
		6,700,000円/年間実績	1,000円/1kg販売
サラダホウレンソウ(現栽培中)	【既設】 水耕ハウス1棟	9,000kg/年間実績	路地物ホウレンソウ時期は価格下落
		4,500,000円/年間実績	500円/1kg販売
その他試行栽培中3種類	ロマリアレタス・マザーレッドレタス・フルバックレタス		

※ルッコラについては水耕メーカー(三菱樹脂アグリドリーム(株)技術部提示による

※フリルレタスとサラダホウレンソウは、当事業所の過去3年間の平均実績による

※水耕ハウス栽培野菜の生育は、温度以上に日照量に左右される。よって、春～初秋に比べ晩秋から春は日照時間が2/3となり収穫量も連動する。対策としてLED導入も対策としてあるが、初期投資は大きな負担となっている。

②販売先

現在の2品目(フリルレタス・サラダホウレンソウ)の主な販売先は約30%が中部圏域の老人施設・保育所などの給食材料として販売

50%が湯梨浜町含む中部圏域の喫茶点・レストラン・ホテル・飲食店・JA直売所等への販売で、残り20%が個人への販売率構成となっている。同様に新品種野菜も地元中心の販売展開をしながら、今後の販路拡大を首都圏にも置く。

③雇用

	職 員	障がい者就労
既存水耕ハウス2棟	2名	16名
新設水耕ハウス1棟	プラス1名	プラス5名
計	3名	21名

※職員1名の雇用創出と障がい者5名の就労先拡大が見込める。

3 現状の課題と解決策

A. 課題 ⇒⇒

現在、生産した農産物は、直市場・JA経由市場出荷しており、気候により当然路地物の集積量変動し価格(収入)は不安定である。時期的には市場価格は倍近い変動がある。

当事業所も市場出荷した経験から、配送コスト等の費用対効果(収入)も試算しながら、農業者安定収入に繋がる、販売先(出口)の確保が必要。それには更なる生産量拡大と品種拡大が必要である。限られた設備では、新規雇用の創出は困難

解決策 ⇒⇒

水耕栽培という収量の比較的季節変動が少ない栽培方法での年間通した安定収入確保

地元飲食店・旅館・ホテル等との直接取引による販売価格の維持

安心安全な品質野菜の首都圏への販路先(出口)確保。配送コストの点を要検討

水耕作業での現在雇用(障がい者)は18名であるが、1棟増設により5名の新規雇用が可能となる
一人当たりの収入は増えないが、雇用の創出となる(世帯は収入増となる)

B. 課題 ⇒⇒

民間営利企業は、当然営利優先のため、当然農業栽培技術ノウハウは企業機密事項であり、その技術や栽培情報はオープンにされにくく、地域全体の農業振興になりにくい

解決策 ⇒⇒

当事業所は、障がい者の就労訓練目的の事業所であり、様々な訓練メニューの一つとして農業(水耕)を訓練手段としている。

この設備システム・栽培技術・指導は福祉事業所・農家・行政・民間企業にできる限り、公開と提示しており、規模の拡大と品種拡大は、地域全体の農業振興とその発展につながる。

(参考:現在、開設5年間で県外含め約100件以上の見学・公開・情報提供をした。結果、導入事例として、鳥取県立琴の浦特別支援学校・島根県の農業生産法人・県内数ヶ所野菜工場が事業開始)

C. 課題 ⇒⇒

販売拡大に必要な営業や商品PRの活動と展開が農業者個々では困難であり、栽培しても作物特有の短い消費期限による売れ残り廃棄ロスが収入確保の弊害となっている。

解決策 ⇒⇒

安心・安全な無農薬栽培(水耕栽培)を、官民一体で広報する。

「食の都鳥取」「鳥取ブランド認定」など商工労働との協力が必要

関東・関西の県アンテナショップでのPRと委託販売(店舗置き)販売からロス率の無い受注販売(ネット販売)などのシステム構築する(現在、法人内障害事業所の生産製品のネット購入・決済を検討中)

D. 課題 ⇒⇒

今回の水耕栽培設備の増設など農業関連整備に対して「福祉分野」では財政援助が乏しく、農業振興拡大の事業展開と拡大の資金不足となっている。

解決策 ⇒⇒

①6次産業化を含む農林系助成金の支援

②土地については遊休農地の低価格賃借

E. 課題 ⇒⇒

次のステージ(野菜工場構想)への足掛かりには現状実績では不足

解決策 ⇒⇒3棟ハウスと数種類の野菜生産と販売により経営安定できる

法人所有の遊休地活用(レークホテル跡地28,000㎡:湯梨浜町長江地内 平成14年取得)

(農業生産法人の創設も視野)

4 資金計画

① 整備事業

項目	数量	金額	鳥取県補助金	湯梨浜町助成金	自己資金
①ハウス新設工事	一式	7,900,000	6,433,000	3,216,000	9,651,000
②ナッパブランド設備工事	一式	11,100,000			
③地下浸透枳工事	一式	300,000			
④消費税(補助対象外)	一式	965,000	補助対象外	補助対象外	965,000
合計		20,265,000	6,433,000	3,216,000	10,616,000